

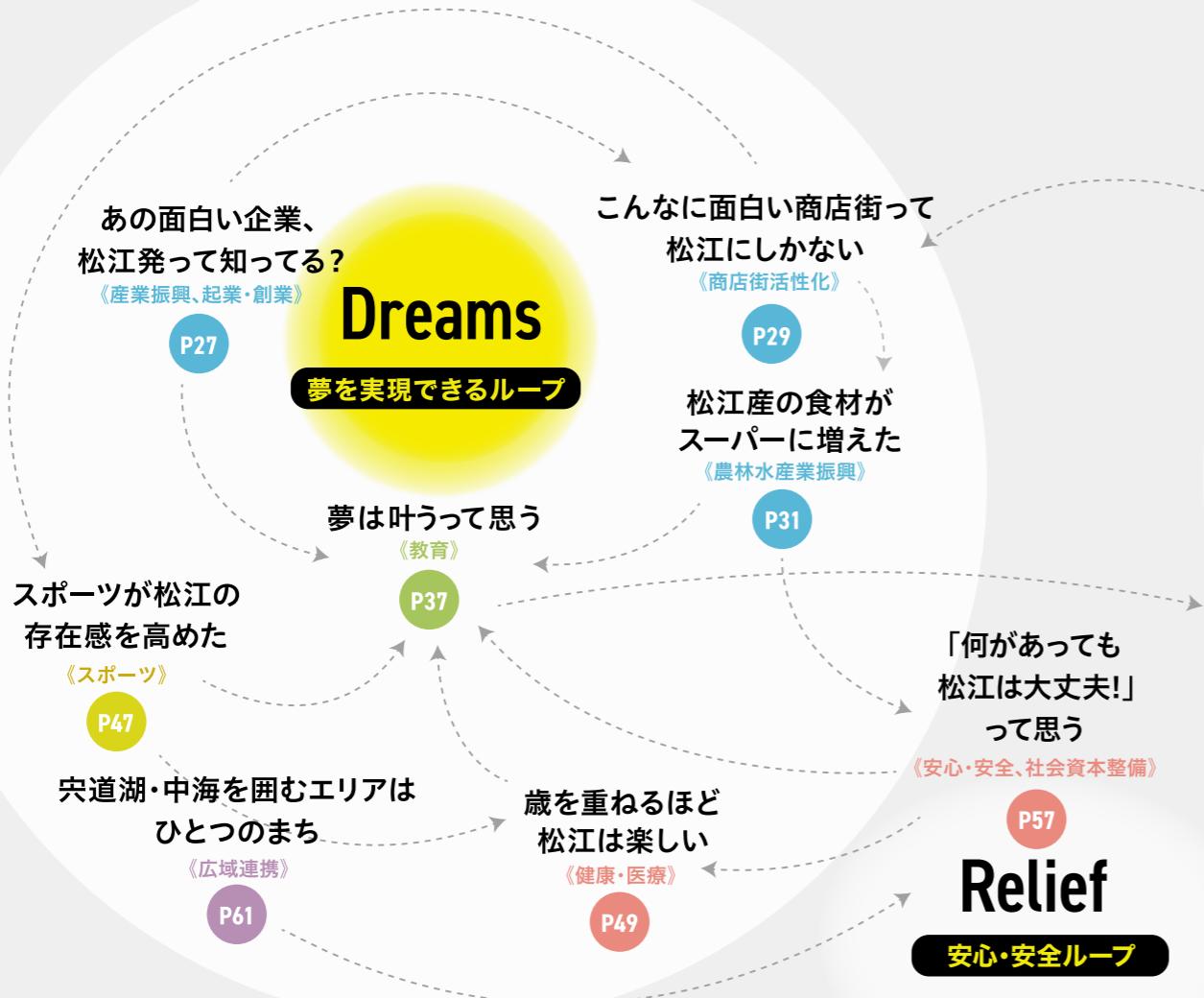
MATSUE DREAMS 2030

基本施策

2030年の市民の実感

松江のあるべき姿=将来像を、5つの柱と18の分野に分けて構成します。
市民が2030年に実感できる「18の松江」は、相互につながり合っています。

将来像 《松江のあるべき姿》
**夢を実現できるまち
誇れるまち 松江**



基本理念
松江のジダイをつくる



松江市はSDGsの実現に取り組みます。
SUSTAINABLE GOALS

基本目標

1 産業振興、起業・創業

2 商店街活性化

3 農林水産業振興

4 観光振興

5 ワーク・ライフ・バランス、子育て支援

6 教育

7 共生社会・地域コミュニティ

8 人材育成・還流

9 関係人口、副業・兼業人材

10 歴史・伝統・文化・芸術

11 スポーツ

12 健康・医療

13 自然・環境

14 都市デザイン(水辺・公共交通)

15 都市デザイン(まちなみ・公園)

16 安心・安全、社会資本整備

17 行財政改革、スマート自治体

18 広域連携

I しごとづくり

II ひとづくり

III つながりづくり

IV どだいづくり

V なかまづくり



すべての行政分野で推進すること

人口減少対策の推進

将来にわたって持続可能なまちを形づくるためには、人口減少対策が重要です。

松江市の人口は2005(平成17)年の国勢調査以降、若者世代を中心に減少が続けています。このため、人口減少対策を取りまとめた総合戦略(2020(令和2)年2月策定)では、若者に重点を置いた施策に取り組む方針を示しました。

こうした方針を踏まえて、産業・雇用の創出、子育て環境の充実、定住の促進に加え、多様性の尊重、安心・安全なまちづくりなど、総合的・複合的に人口減少対策を進めています。

また、デジタル化の進展など新たな時代の流れを力にして、人口減少対策を強化するとともに、産・官・学・金・言・労・士など多様な主体と協力・連携して取組を進めます。



文化力を生かしたまちづくり

「国際文化観光都市・松江」には、神話の時代からの歴史の積み重ねがあり、先人が残してくれた、世界に誇るべき豊かな伝統文化芸術があります。

しかし、時代の移り変わりとともに、伝統行事や生活文化を守り伝えていくことが難しくなっています。

市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなる松江の文化力やそれを支える「7つの柱」を再認識し、世代を超えてだれもが心豊かになれるまちを実現するため、2021(令和3)年に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」を制定しました。

同条例に定める「6つの視点」を取り入れながら、伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進します。

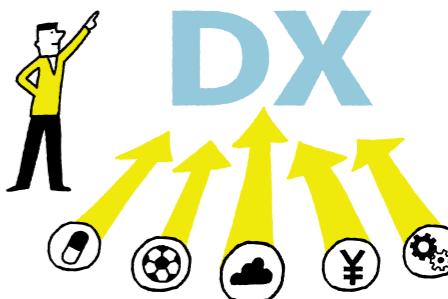


デジタル技術の活用(DX)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により新しい生活様式への転換を余儀なくされ、暮らし・仕事・人との関わり方など社会の在り方が大きく変わりました。

また、デジタル技術の高度化や人工知能(AI)の普及が進む中、これらを前提とする社会の到来が目前に迫っています。あらゆる分野で新しい生活様式への対応とデジタル化の動きが加速しており、新しいサービスやビジネスの創出機会として活かせるものと確信しています。

行政サービス、産業、教育、医療・福祉、スポーツ、社会资本整備などの分野でDXを推進し、既存産業の革新、新しい産業創出、暮らしの利便性向上を実現します。





I しじとづくり

1 産業振興、起業・創業

Ruby Cityブランドが浸透して
IT産業の集積が進み、
新たなビジネスが
生まれている。

Ruby City MATSUE
プロジェクト2.0



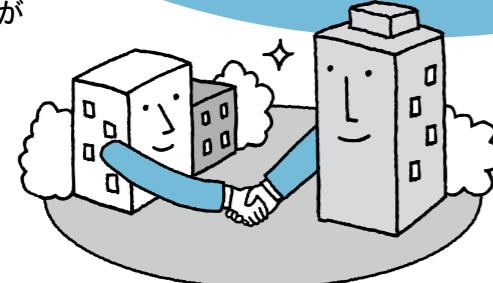
災害や経済危機に左右されない
変化に強い企業になる！



企業誘致+地元
企業との協働
により雇用が
増えている。

2030年、市民の実感
**あの面白い企業、
松江発って知ってる？**

市外企業との
コラボレーションによる
新たな商品・サービスが
リリースされている。

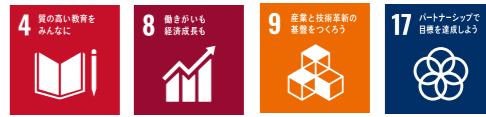


松江の工芸の魅力が全国へ広まる。
工芸の魅力を活用した
ユニークな商品や若い担い手が増えた。

中海・宍道湖・大山圏域の各市に所在する
企業間の連携が進み、新しい商品が生まれた。

目標

創業数(新設法人数)
年間145社



松江のチャレンジ

- 起業や新しいビジネスに挑戦する人を、地域全体で支援する
「MATSUE起業エコシステム」を形成します。
- 「Ruby(※)」を軸に世界で通用する企業が集積し、革新的な技術・
商品・ライフスタイルを生み出します。

※Ruby…松江市在住のまつもとゆきひろ氏によって開発されたプログラミング言語。

私のチャレンジ





I しじとづくり

2 商店街活性化

空き家・空き店舗のリノベーションにより、
まちなかの行きたい場所やお店が増えて、
毎週末にぎわっている。



商店街の中で、
斬新な取組やアイデアを持ち寄り、
全国に向けて発信している。



2030年、市民の実感

こんなに面白い商店街って 松江にしかない



まちづくり会社により、
まちなかに眠る土地や家屋や
公共空間の利活用が進んでいる。



伝統工芸やものづくりを
体験できる「時間消費型」のお店が
軒を連ねている。

目標

中心市街地商店街の
店舗利用率
93.6%



松江のチャレンジ

- 松江ならではの手仕事、ものづくりに触れることができる、「本物」がある「職人商店街」をつくります。
- 「非日常」体験、飲食、買い物が楽しめる、昼も夜も歩きたくなるまちをつくります。
- 市街地の再開発を担うまちづくり会社を応援します。

私のチャレンジ





目標

**第一次産業の産出額
年間102億円**



松江のチャレンジ

- 地域商社の設立によって松江産品の認知度を高め、ブランド化を図ります。
- 6次産業化(※)、農水商工連携(※)に取り組み、商品開発や販路開拓を推進します。

※6次産業化…1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業の一体的な推進を図り、新たな付加価値を生み出す取組。

※農水商工連携…農林漁業者と商工業者などが通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを生かして、新商品・新サービスの開発、販路開拓などを行う取組。

私のチャレンジ





「文化芸術のまち」としての知名度アップ!
市内のあちこちで、演劇・文芸・映像などアートに触れることができる。



佐陀神能、ホーランエンヤ、鑿行列などの伝統行事が次世代に継承されている。

「縁結び(ご縁)」「美肌」「怪談」「小泉八雲」「水の都」といえば松江。




2030年、市民の実感

世界中から 松江に人が集まる



VR・ARのほかデジタル技術の活用により、国宝松江城を中心とする城下町文化について国内外の認知度が高まる。

出雲縁結び空港へ国際定期便が就航!
路線数も便数も増えて、使いやすくなった。



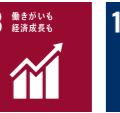
大規模なビジネスイベントや国際会議が多数開催されている。

「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」への関心が高まり、全国から観光や修学旅行の目的地として選ばれている。

目標

観光消費額

年間750億円



松江のチャレンジ

- 松江をたくさん訪れている国、近隣空港に直行便がある国・地域(※)に、重点的に松江の魅力を発信します。

※台湾、香港、中国、韓国、フランス、タイ、シンガポール、アメリカ、インドが念頭。

- 山陽・関西と松江をつなぐ広域周遊ルートをつくります。

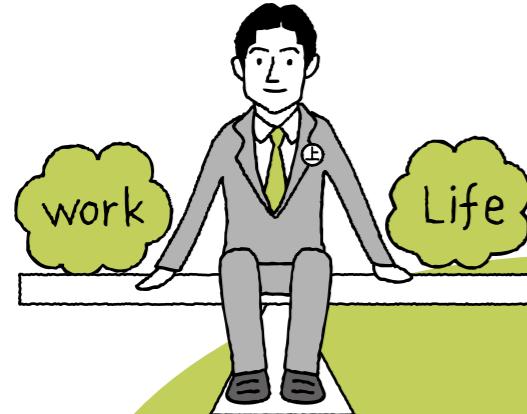
- 松江の豊かな自然や食を生かし、自然に親しむアクティビティ(※)や癒し・健康をテーマとする観光プログラムをリリースします。

※アクティビティ…活気。活動。特に、リゾート地などのさまざまな遊びのこと。

私のチャレンジ



希望するワーク・ライフ・バランスに応じた働き方が定着。男性の育児参加が当たり前になった。



2030年、市民の実感

ここに生まれてよかったです ここで育ててよかったです

妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援が充実。



市民活動団体や地域の人や企業が子どもたちを応援し、「みんなで育てる」取組が活発に！

医療的ケア児や障がいのある子どもに対する先進的な支援が全国で注目。



児童クラブに待機児童がない。

目標

合計特殊出生率	子育て支援策に満足している市民の割合
2.22	60%



松江のチャレンジ

- 海、山、湖などの松江の自然を生かして、家族で楽しめる場所をつくります。
- 雨の日でも子どもと遊べる空間を整備します。
- 親子向けのスポーツイベントや商店街での縁日など、家族で楽しめる「子育ての日」(年1回)を制定します。

私のチャレンジ





II ひとづくり

6 教育



目標

将来の夢や希望を持っている
児童・生徒の割合
小学生 87.0% | 中学生 72.0%



松江のチャレンジ

- ICT機器(※)の活用を通じ、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。
※ICT機器…情報通信技術の機器。PC、電子黒板、携帯電話など。
- 英語によるコミュニケーション力を育て、海外の文化や言語に触れる機会を増やします。
- 県教育委員会や大学などと連携して、読み書きに困難を抱える児童・生徒の指導・支援を拡充します。
- 伝統文化芸術など、松江の魅力ある地域資源を活用した学習プログラムを構築します。

私のチャレンジ





生活上の悩みを相談できる
身近な窓口があり、関係機関が
連携して解決してくれる。



災害時に避難支援が必要な方を
地域で支える仕組みが明確に
なっている。

2030年、市民の実感 松江市民のモットーは 「寛容」

国籍・年齢・性別や、性自認、
障がいの有無などにかかわらず、
多様性が尊重され、自分らしく過ごせる。



地域やNPOが青少年の
健全育成に取り組み、
青少年の自立と社会参加が
促進されている。

各地域で
「地域版まちづくり総合戦略」に基づき、
まちづくりのユニークなアイデアが実践され、
それを市域全体で共有している。

目標

市民活動・地域活動
への市民の参画割合
65%



松江のチャレンジ

- 高齢の方、障がいのある方が活躍できる場づくり・機会づくりを進めます。
- 多文化共生社会(※)を実現し、だれもが社会参加できる環境をつくり
マインドを育てます。
※多文化共生社会…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等に関係を築こうしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
- 公民館を中心に、世代間で交流できる機会をつくります。
- 市民、NPO、企業、行政がそれぞれの強みを生かし、連携しながらまち
づくりを進めます。

私のチャレンジ





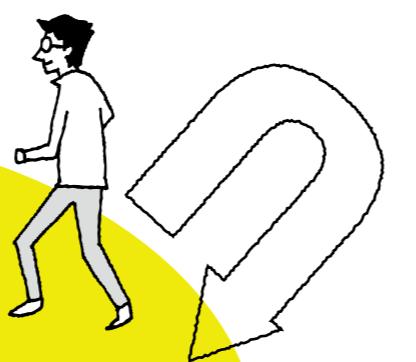
III つながりづくり

8 人材育成・還流

松江のPRが奏功し
都市にある企業の本社機能や
サテライトオフィスの立地が
相次いでいる。

住んでる人の
生活の満足度が
高い。

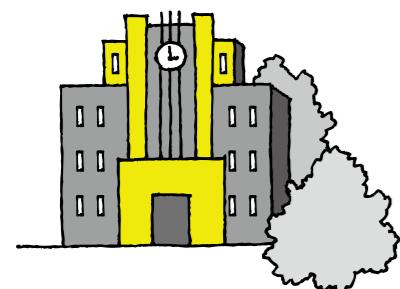
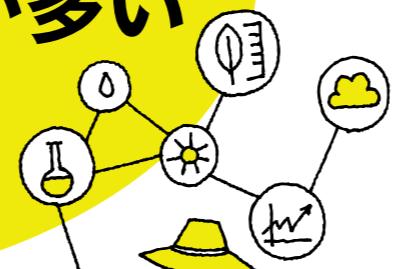
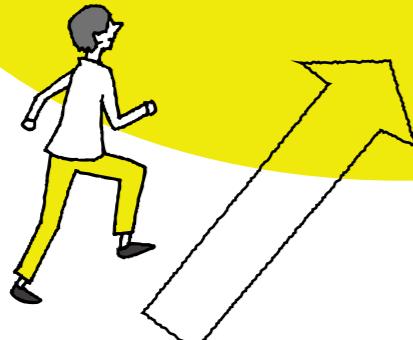
「はたちの集い」が盛り上がる！
松江を離れた若者と行政や
地元企業のつながりが
強くなっている。



2030年、市民の実感 最近、松江に 引っ越してくる人が多い



移住相談や
移住イベントが活発化！
移住希望者の個性に
あったサポートが充実。



松江出身の大学生が
地元企業を知り
インターンシップを受け
就活エントリーするステップが
確立している。



松江の農林水産業の魅力が高まり、
若者が続々と就農・就漁している。

目標

UIターン者数
年間1,230人



松江のチャレンジ

- 松江出身の大学生を中心に、地域や地元企業との結びつきを強める場をつくります。
- 都会地における「松江」の認知度が向上し、魅力あるまちとしてブランド力を定着させます。

私のチャレンジ





ふるさと納税のポータルサイトが魅力的。

返礼品も充実し、
ふるさと納税といえば
松江の名前が挙がる。



松江がテレワークの聖地として認知されている。

市外企業に勤めながら、松江で働く人が増え、
そのための環境が整備された。



SNSを通じて
世界中の
フォロワーに
松江の情報を
タイムリーに
発信している。

2030年、市民の実感 松江推しは世界中にいる



都市部の人と地域をつなぐ
交流セミナーや
現地体験ツアーが活発化。
地域の受け入れ体制が整い、
松江に関わる人(関係人口)が
増えた。

目標

UIターン者数
年間1,230人



松江のチャレンジ

●松江にゆかりのある企業家へのトップセールス(※)や、松江出身者との交流の強化により、ふるさと納税をはじめとする関係人口を増やします。

※トップセールス…地方自治体の代表などが、国や地方の産物・産業を売り込むこと。

●产学研官金の連携によって、副業・兼業などの人材活用ができる体制をつくります。

●ワーケーション(※)の魅力・利便性・拠点性を高め、都市部の企業にアピールします。

※ワーケーション…Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や滞在地など、普段の職場と異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。

私のチャレンジ





総合文化センターなど
市民の芸術文化活動の
拠点施設がにぎわう。



国内外の
姉妹都市との
文化・スポーツ交流が
盛んに
行われている。



小泉八雲を知り、
学ぶ機会が
増えた。



まちそのものがアート



市民、NPO、地域、行政が協力し、
豊かな自然景観や歴史文化を生かした
まちづくりへの理解と共感が広がり、
活動に参加する人が増えた。

地域に根づく伝統文化や
行事の魅力・価値が認識され、
担い手に引き継がれている。
インバウンド観光の目的地としても
話題になっている。

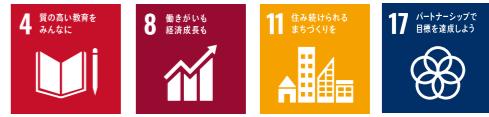


指定文化財等が
適切に保存されて
いる。ICT技術により
文化財の特徴や価値を
わかりやすく
発信している。

目標

松江の伝統文化芸術を誇りに思い、
心豊かになれるまちだと考える
市民の割合

77%



松江のチャレンジ

- 松江で活動するアーティストが作品を発表できる場、市民の創作活動を応援する環境をつくります。
- 国宝松江城の世界文化遺産登録に向けた取組をきっかけに、松江の魅力を世界にアピールします。
- 中海・宍道湖・大山圏域の地域資源を歴史や共通するテーマでつなぎ、住民の交流やマイクロツーリズム（※）を推進します。

※マイクロツーリズム…住民が地元や近隣地域で行う宿泊観光や日帰り観光。

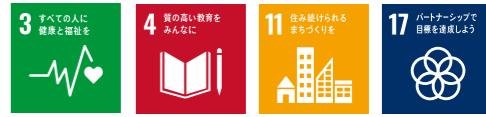
私のチャレンジ





目標

週1回以上スポーツに取り組んでいる市民の割合
70%



松江のチャレンジ

- 全国・世界の舞台へ挑戦するジュニア選手を応援します。
- サッカーやグラウンドゴルフからサイクリングや水上スポーツまで、世代を問わずスポーツを楽しめる環境を整備します。
- プロスポーツ選手が市内学校で競技指導に当たるなど、スポーツが身近にあるまちをつくります。

私のチャレンジ



健康診査・がん検診・歯科健診のメニューが充実して受診しやすくなったり。健診結果を活用した健康づくりがサポートされている。



歳を重ねるほど 松江は楽しい

健康イベントが盛りあがる!
ウォーキングする人が増えた。



人と人とのつながりの中、
だれもが住み慣れた地域で
安心して暮らしている。

目標

健康寿命
(65歳以上平均自立期間)
女性 21.60年 | 男性 18.40年



松江のチャレンジ

- オフィスで働きながら健康を増進するしくみをつくります。
- 水辺を生かした歩きたくなる空間づくり、地産地消を使った食生活の提案など、松江ならではの健康づくりを進めます。
- 松江にある「癒し」の素材を、予防医療や健康指導と組み合わせて、市民の健康寿命の延伸を図ります。

私のチャレンジ



再生可能エネルギーが普及し、省エネルギーや公共交通の利用と併せて、環境に優しいライフスタイルが定着している。



目標

二酸化炭素排出量

916千t-CO₂



松江のチャレンジ

- 2050年のカーボンニュートラル(脱炭素社会)(※)に向けて、太陽光・風力・地熱・小水力・木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及を促進します。

※カーボンニュートラル…二酸化炭素の排出量と吸収量が差引ゼロの状態になることを目指す概念。

- 日本海・宍道湖・中海の海藻や水草によって吸収されるCO₂(ブルーカーボン)を活用して、カーボンオフセット(※)制度を構築します。

※カーボンオフセット…日常生活や経済活動において排出される温室効果ガスについて、どうしても削減できない排出量の全部または一部を、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などで、埋め合わせすること。

- 再生可能エネルギーを活用して、スマートシティのモデルケースになることをめざします。

私のチャレンジ



宍道湖畔にレストランや
キッチンカーが並び、
イベントや
水上アクティビティが
楽しめるにぎやかな
水辺になっている。

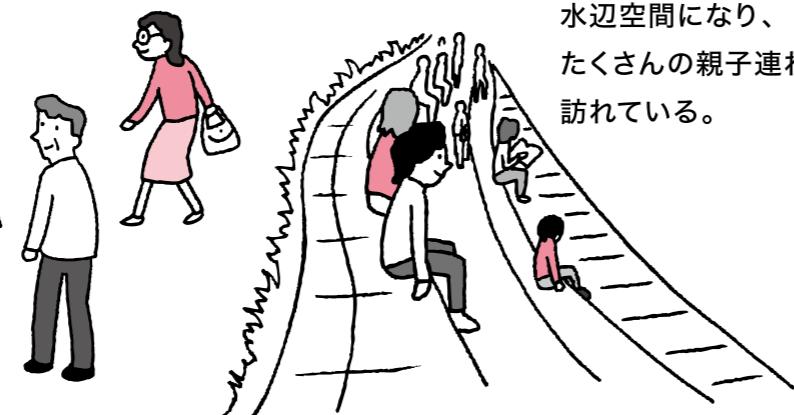


2030年、市民の実感

世界の水都MATSUEが 水辺と公共交通の 概念を変えた



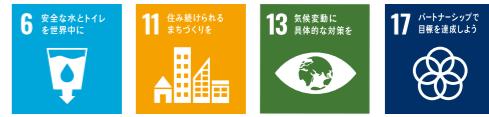
路線バス、コミュニティバス、
AIデマンドバスなどの
きめ細かい役割分担によって
公共交通が使いやすくなった。



大橋川沿いが
憩い・集い・くつろげる
水辺空間になり、
たくさんの親子連れが
訪れている。

目標

中心市街地の水辺が利用し
やすいと感じる市民の割合
70%



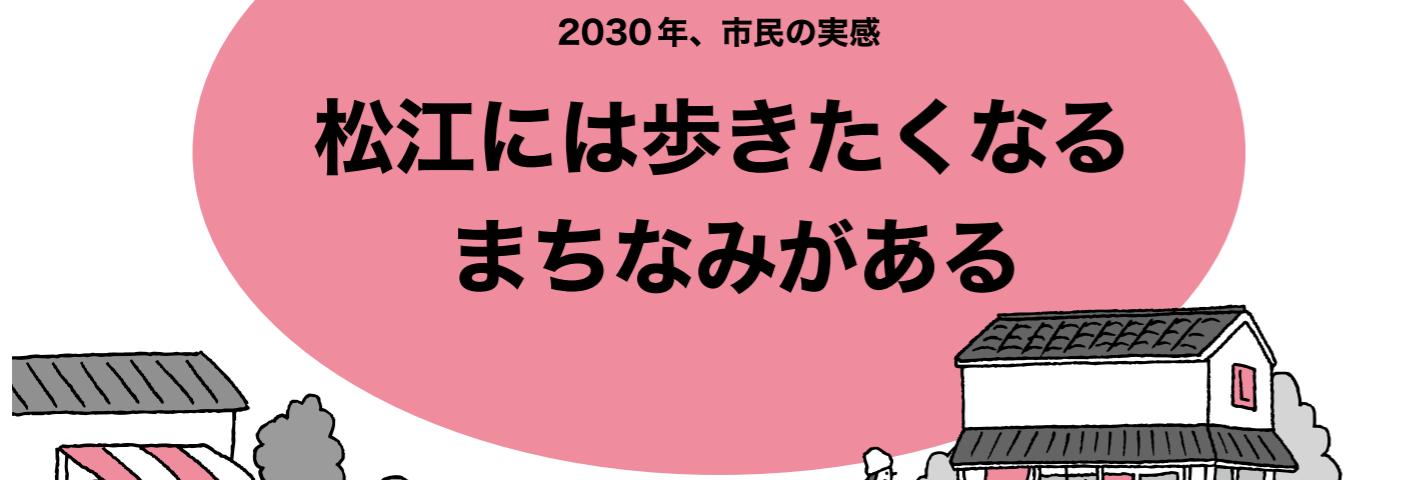
松江のチャレンジ

- 水上交通など、「水の都・松江」を実感できる多様なアクティビティ（※）をつくります。
※アクティビティ…活気。活動。特に、リゾート地などでのさまざまな遊びのこと。
- 宍道湖畔に、子どもも大人も安心して遊ぶことができる親水空間を整備します。
- 既存の公共交通を補完するAIデマンドバス（※）を導入し、だれもが利用しやすい交通ネットワークを整備します。

※AIデマンドバス…従来の定時定路線型のバスではなく、利用者の予約に対しAI（人工知能）により最適な運行ルート、配車をリアルタイムで行うバスシステム。

私のチャレンジ





週末に公園や道路を活用して、楽しいイベントが開催されている。

目標

住みやすさを実感する
市民の割合

90%



松江のチャレンジ

- JR松江駅前に人々が集う「松江の顔」となる広場を整備します。
- 大手前駐車場を広場などに活用して、松江城周辺とまちなかを回遊する人の流れをつくります。
- グリーン・スロー・モビリティ(※)など多様な交通手段を導入し、安心して歩くことができる歩行者優先の道路を増やします。
- 企業、NPOなどが公園で行うユニークな取組を応援します。

私のチャレンジ





目標

災害時の安心感を持つ市民の割合
60%



松江のチャレンジ

- 新庁舎に各種防災機能(※)を連携し統括管理する総合防災センターを設置します。
※各種防災機能…災害時の情報発信や備蓄、避難所の運営、支援物資や災害ボランティアの受入、防災教育等。
- 町内会・自治会や公民館を起点に、地域のまとまり・団結力を育み「防災力」を強化します。
- 消防署に指揮隊を設置し、現場対応力の強化を図ります。消防団との連携を深め、市域全体の消防力を高めます。

私のチャレンジ





自宅にいながら
インターネットで
必要な行政サービスを
受けることができる。

市役所に行けば、
待つことなく
手続きが進む。

市役所って、 ほんと頼りになる

公文書が
インターネット上で
検索・閲覧できる。
「文書館(※)」が整備され、
歴史史料として重要な
公文書が管理されている。
※文書館…歴史的価値のある公文書や
地域の古文書などを一体的に収集・
評価・保存・公開する施設。



インターネットにより
いつでも市役所に意見を発信できる。
市民のニーズがタイムリーに
施策に反映される。

民間企業との交流やノウハウの共有などにより、
市役所の機能や応対がレベルアップした。



多様なメディアを通じて、
松江市からの情報がサクサク届く。

市の公共施設や
利用できるサービスが
マップ上で検索できる。



目標

行政サービスの利便性に
満足している市民の割合
65%



松江のチャレンジ

- 行政手続きや暮らしの相談にあたり、対面とオンラインが「ちょうどよく」選択できる仕組みをつくります。
- 職員による専門スキルの取得、外部人材の登用などによって、市民ニーズの多様化や高度化する行政事務にきめ細かく対応します。
- SNSの活用など、市民参加による市の広報体制を整えます。

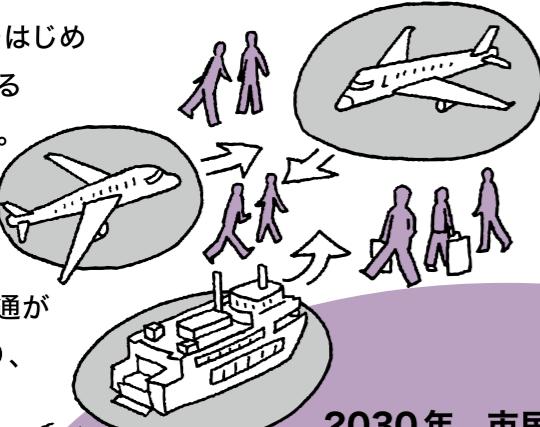
私のチャレンジ



エリア連携によるユニークな魅力の相乗効果で
インバウンド観光客が増えた。

台湾・インドをはじめ
世界へ挑戦する
企業が増えた。

圏域の公共交通が
使いやすくなり、
往来が盛んにな
っている。



2030年、市民の実感

宍道湖・中海を 囲むエリアは ひとつのまち

エリア内の
移住・定住者が増えた。
健康で長生きできるまち
としてのイメージが浸透。



環境保全に関する
イベントや取組が
活発化。
自然学習を通じて、
子ども同士の
交流が進んだ。

新幹線の整備促進に向けて、
エリアが一体となって取り組んでいる。

圏域各市の特徴ある地域資源を活用し、
域内でコラボすることでそれぞれの
地域産業が発展している。

中海・宍道湖を囲む「8の字ルート」の
早期完成に向けた取組が着実に進んでいる。



台湾・インドとの間で
企業交流が活性化。
商取引が増えている。



目標

中海・宍道湖・大山圏域人口

60万人 (2060年)



松江のチャレンジ

●5市の共通課題の解決に共同で取り組む仕組みをつくります。圏域住民への周知・意識啓発を行います。

●脱炭素社会(カーボンニュートラル)(※)の構築や、医療・福祉面の余力の融通などに、圏域全体で取り組みます。

※カーボンニュートラル…二酸化炭素の排出量と吸収量が差引ゼロの状態になることを目指す概念のこと。

●中海・宍道湖・大山圏域(※)の地域資源を5市住民が相互に楽しむマイクロツーリズム(※)を推進します。

※中海・宍道湖・大山圏域…米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市の5市と鳥取県西部7町村のエリア。

※マイクロツーリズム…住民が地元や近隣地域で行う宿泊観光や日帰り観光。

私のチャレンジ



YOUR DREAM 2030



2030年の「私」の姿

2030年あなたは何歳でしょうか？

どこでどんな暮らしをしていますか？

ありたい未来の実現に向けて、自分なりの将来像と
その実現に向けたチャレンジを描いてみませんか。

2030年 歳

私のなりたい姿

その実現に向けたチャレンジ
